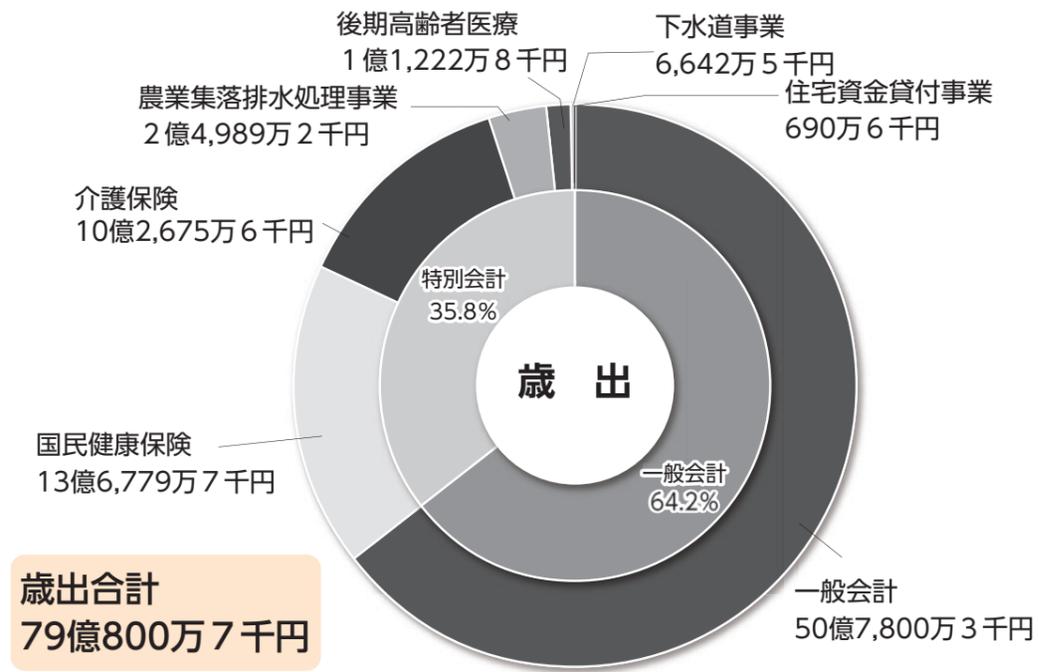
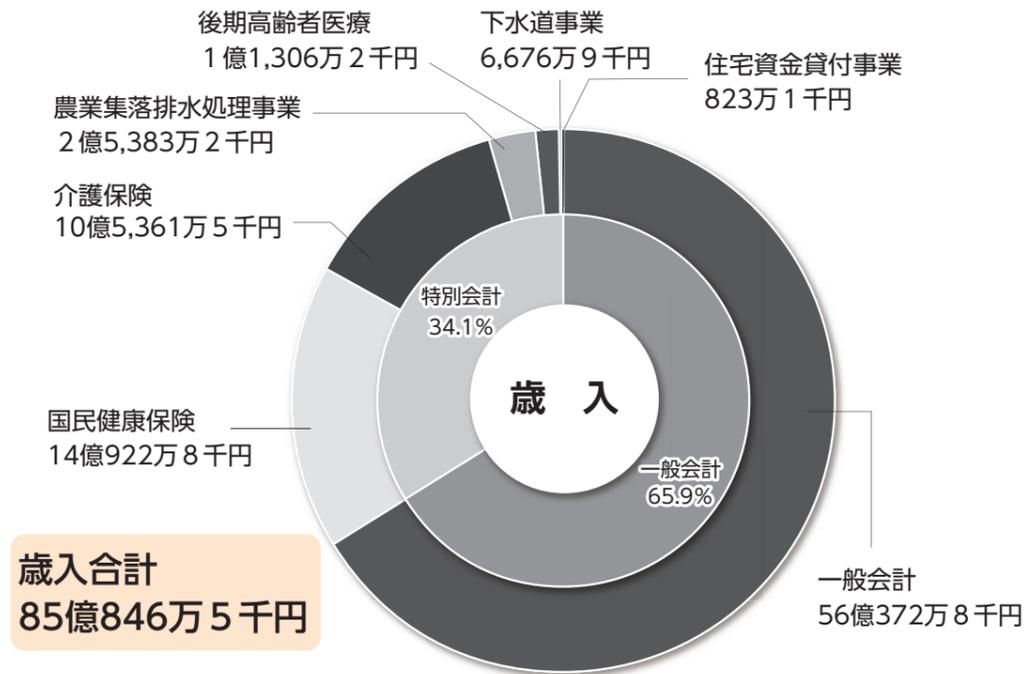


# 一般会計・特別会計歳出

# 79億800万7千円

令和元年度 会計別決算



水道事業会計	収入	支出
収益的収支	3億1,095万5千円	2億6,429万4千円
資本的収支	1,902万9千円	1億8,769万7千円
合計	3億2,998万4千円	4億5,199万1千円

令和2年第3回美里町議会定例会が、9月1日から18日までの18日間の日程で開催されました。この議会では、令和元年度の一般会計及び特別会計等の8会計の決算を慎重に審議し、すべて認定しました。

その他、令和2年度一般会計及び特別会計等の補正予算、条例の一部改正等を可決しました。また、議員6名による一般質問が行われました。

## 台風19号の復旧状況

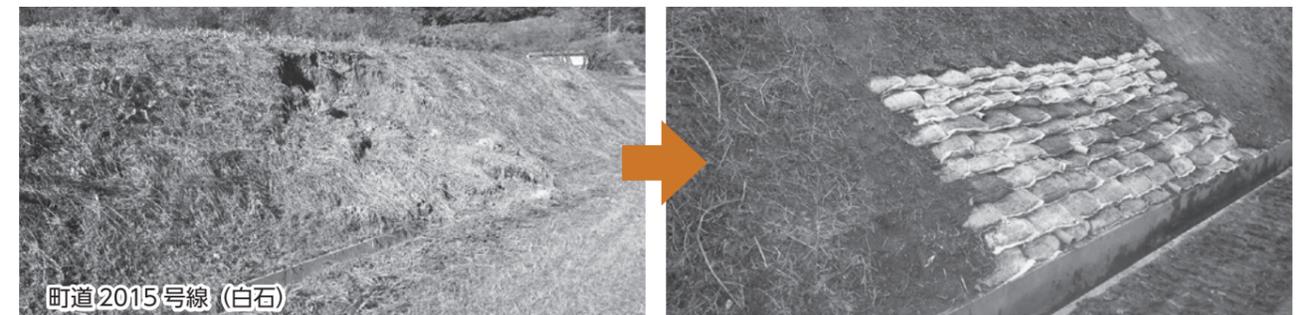
### 記録的な大雨により多くの被害



護岸ブロックが破損したことで、護岸裏等の土砂が流出した。そのため、護岸ブロックを復旧する工事を実施した。



法面が崩壊し、土砂や草木が民地に流れ込み、水の流れを阻害した。そのため、土砂を撤去し、大型土のうを設置することで法面が再び崩壊しないよう復旧した。



町道脇の法面が崩壊し、土砂が水路を塞ぎ、水の流れを阻害した。そのため、土砂を撤去し、土のうを設置することで法面が再び崩壊しないよう復旧した。



# 地域の活性化に向け

## 決算特別委員会 一般会計質疑

**問** 本庄市児玉看護専門学校が卒業生が郡市内で働いているか  
**答** 平成31年度の卒業生は23名おり、児玉郡市内に6名就職しています。その他、県内で就職した方は9名となっています。

**問** 家畜伝染病予防注射事業について、豚熱(CFS)の町内での発生状況等は



抱える家庭については、適切に支援できるよう支援方針を定期的に協議し、関係機関と連携しながらサポートを行っています。



産業団地で取得した土地の現状

**問** 産業団地で取得した土地の有効活用をどのように考えているか  
**答** 県との約束もありますが、将来的には売却を含めて検討したいと考えています。

**問** 産業界で取得した土地の有効活用をどのように考えているか  
**答** 県との約束もありますが、将来的には売却を含めて検討したいと考えています。



**問** スクールサポートスタッフと新たな中国語の通訳はどのような方が  
**答** スクールサポートスタッフは、先生方のサポートをしていただく方で、業務内容は印刷業務や電話対応、配布物の作成等です。中国語の通訳は、中国から来た生徒が、日本語での学習の進め方について戸惑いが見られ、サポートが必要のため配置しました。

**問** 遺跡の森館の空調設備保守管理委託料について、省エネ改修工事が実施されたことにより必要なくなると思いますが  
**答** 今後はリース料の中に保守管理委託料が含まれます。

### 賛成討論

令和元年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入総額56億372万8千円で対前年度比11.1%の増、歳出総額50億7,800万3千円で、対前年度比10.2%の増となりました。

歳入では、税収は、約17億9,800万円で550万円の増、地方交付税は9億3,600万円で、1億1,300万円の増となり、歳出では、健康増進関係の「飛び地連携型大規模ヘルス事業」や、「子育て包括支援センターの設置」、防災行政無線デジタルシステム

更新工事、遺跡の森総合公園内の省エネ改修工事、スマートICのアクセス道路整備等、健康長寿、活力・創造のまちづくりに向けた事業が効果的に行われたと評価致します。

引き続き、事業の有効性や効率性等を検証し、中長期的な視点に立った健全で持続可能な財政運営及び災害に強いまちづくり等への取組にご期待申し上げ、賛成討論といたします。



# 多くの質疑、238問

決算特別委員会では、各議員から執行状況等に関する多くの質疑がなされました。ここでは、主な質疑を掲載します。

**問** 地域活性化施設では、民間活力を活用し温泉なども考えていただきたい  
**答** 地域活性化施設の計画は町でも初めての試みであり、どう形にしていけば良いのか手探りで進めています。時代はかなり変わってきて、民間の力を借り、地域の資源を活用して運営することが成功の秘訣のようです。道の駅と地域の資源を活用した、良い案を出していきたいと考えています。

**問** ふるさと納税が増えた理由  
**答** 積極的に返礼品目を増やしPRしてきたことが増えた要因だと考えます。

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会について  
**答** 平成30年度の総合戦略について、外部委員の評価をいただくため実施しました。また、地方創生交付金を活用し保健センターで実施しています。

る、飛び地連携大規模ヘルスケア事業の評価も併せていただきます。

**問** プレミアム付商品券事業の申請率は  
**答** 住民税非課税者、3歳未満の子育て世帯主が対象です。申請率は、住民税非課税者が34%、3歳未満の子育て世帯主は申請せずに直接商品券を配付しました。

**問** こども医療費支給事業の対象年齢を18歳まで拡大した結果は  
**答** 3年齢相当分を増額して見込みました。高校生くらいになると病院にかかることも減るのかもしれませんが、支給状況は予算に対し少ない結果となりました。



**問** 歯科事業の表彰者数が8名になっていきます。自己申告なのか検診をもとに通知がくるのか  
**答** 集団検診や健康まつりなどで実施している集団の歯科健診、契約医療機関における個別検診の結果、80歳以上で20本以上ご自分の歯をお持ちの方に通知し表彰の対象としています。

**問** 子育て包括支援センターについて  
**答** 安心して出産を迎え、子育てができるよう妊娠からサポートできる体制を整えるため開設しました。また、センターは虐待のリスクのある御家庭を早期に把握して支援していく役割も期待されており、様々な問題を



### 反対討論

平成30年度末、生活保護世帯が38世帯だったにもかかわらず、令和元年度末は42世帯に増え、また、小学校、中学校の準要保護児童生徒数が、平成29年度は88名、平成30年度は97名、令和元年度は100名に増えています。弱者を救済していない現れです。よって、令和元年度美里町一般会計歳入歳出決算認定に反対いたします。

### その他の質疑

- ・禁煙外来助成金
- ・農業女性会議所の活動
- ・寄居スマートーC西地区産業団地の名称
- ・中学生の英検取得率
- ・ハイパーQUTESTの効果



# 町民の生活・環境を守る

## 決算特別委員会 特別会計・水道事業会計質疑



沼上クリーンセンター

**問** 将来的に維持管理費等の財政負担が少なくなることを見込んでおり、公共下水道に接続します。

**答** 今後、料金の統合という課題が出てくると思いますが、審議会や議会で説明した中で使用水量に基づく算定としたいと考えています。

**問** 集落排水の沼上と十条を下水道に変更する場合の使用料は

**答** 今後、料金の統合という課題が出てくると思いますが、審議会や議会で説明した中で使用水量に基づく算定としたいと考えています。



十条クリーンセンター

### 農業集落排水処理事業特別会計

**問** 南部中央処理区の繋ぎ込みが少ない。これは集落排水と比較して浄化槽のほうで維持管理費が安いという現実がある。繋ぎ込みを増やしていただきたい

**答** 加入率の向上対策として、今年1月に未接続者157軒にダイレクトメールを送りました。

**問** 農業集落排水の円良田と小栗の今後の見通しや考え方は

**答** 平成30年度に最適整備構想を策定し、小栗は南部中央へ統合し、円良田は単独改修という方向性の結果が出ました。現在は、今後どのようにしたら経費の節減ができるか検討しているところです。

### 水道事業会計

**問** 年間有収率84・7%だが、残りの数字は漏水なのか

**答** 漏水事故が大きな要因です。令和元年度の漏水件数は12件でした。

**問** 漏水調査は実施しているのか

**答** 今後、費用対効果も含め、調査実施について検討していきたいと考えています。



**問** 石綿管は災害があった時に大きな問題になる。この石綿管の布設替は

**答** 石綿管については、現在、第1浄水場と武州製薬との間の道路に約700m、閑地内に約50m残存しています。令和2年度に石綿管の解消に向けて布設替の設計を実施しています。令和3年度以降に工事実施予定です。

**問** 夜間電話で濁水情報があったと聞いている。どのような対応をしたのか

**答** 状況を確認し消火栓から濁水を排出する作業を行いました。



# 特別会計等決算認定

### 住宅資金貸付事業特別会計

**問** 返済者の所得状況にあわせた返済を促すことが必要だと思いが、どのように返済額を決定しているか

**答** 債務者から生活状況などを聞き取りにより確認し、返済額の交渉をしています。



### 国民健康保険特別会計

**問** 個別健診と集団健診の費用・内容等は

**答** 個別健診も集団健診と同様無料で受けることができます。ご自身で医療機関を予約し受診する方法となります。検査内容の違うところは眼底検査が含まれません。

**問** 保険税一人当たり8万1953円、前年より2828円増額となっていますが、

**答** 令和元年度末476人、平成30年度末488人、平成29年度末478人、平成28年度末505人、平成27年度末547人で、若干ですが減少しています。高齢者の人数は年々増えているので、認定率は下がっています。

### 改定による値上げの影響が保険税については、調定額全体を全加入者数で割った結果が2828円増額となつています。令和元年度は、値上げではなく4方式から2方式に移行する中で財政を維持するための改正です。

**問** 特定健診の受診率は

**答** 集団健診と個別健診を合わせて42・4%となっています。なお、人間ドッグを受診した件数を含めると48・36%になります。

### 介護保険特別会計

**問** 介護認定者数は

**答** 令和元年度末476人、平成30年度末488人、平成29年度末478人、平成28年度末505人、平成27年度末547人で、若干ですが減少しています。高齢者の人数は年々増えているので、認定率は下がっています。

### 認定者の介護度別の内訳は

**答** 令和元年度年報の年度末数値は、要支援1が6人、要支援2が35人、要介護1が111人、要介護2が103人、要介護3が121人、要介護4が80人、要介護5が34人、合計490人です。



### 後期高齢者医療特別会計

**問** 医療費の中で、調剤費が102%と微増している。調剤費抑制についての取組は

**答** 国保と同様に保険証の交付時にジェネリック医薬品希望シール等啓発資料を同封して送付するなど、ジェネリックの利用推進について啓発を行っています。

### 下水道事業特別会計

**問** 集落排水の十条・沼上処理区は公共下水道に接続するのは

**答** 今後、費用対効果も含め、調査実施について検討していきたいと考えています。

### 国保と後期の制度の違いは

**答** 後期は埼玉県後期高齢者医療広域連合が保険料を定め、国保と違い2方式となっております。国保と同じ保険料です。保険料の改定は2年毎となっています。医療機関等にかかるときの自己負担割合も国保とは異なります。

貼って伝えましょう!

ジェネリック医薬品希望シール

皆さまの窓口負担を節約できる。ジェネリック医薬品の利用を促進するためジェネリック医薬品への切替をスムーズに促せる事ができるシールを作成しました。ジェネリック医薬品を希望される方は、保険証やお薬手帳にこのシールを貼ってご活用ください。

【保険証の例】

【お薬手帳の例】

埼玉県後期高齢者医療広域連合

